

平成29年度 第32回 白鳥杯バレーボール大会 開催要項

- 1 主催 札幌バレーボール協会
- 2 後援 札幌市教育委員会 石狩市教育委員会 北海道新聞社
- 3 日時 予選大会・・・平成30年1月20日(土)・21日(日)
決勝大会・・・平成30年2月 3日(土)・ 4日(日)
- 4 会場 予選大会・・・市内各中学校・石狩地区中学校
決勝大会・・・2月3日(土) 男子(中学校)
女子(中学校、 中学校)
2月4日(日) 男子(中学校) 女子(中学校)

5 参加資格

札幌バレーボール協会に加盟している単一学校、クラブチームの1、2年生でJVAに個人登録している者により編成された男女各1チームとする。但し、札幌バレーボール協会に加盟し、中体連の内規規定による複数校合同チームはその限りではない。また、お互いに単一学校でチームを編成できない場合においても、複数校合同チームを結成し、出場資格を与えるものとする。但し、女子については他区との合同は認めない。クラブチームについては、協会登録時のチーム所在地区に参加するものとする。

※クラブチームの参加については事前に総務委員長まで申し出ること。

(また、学年は同様とし、新人戦に単独で出場できないチームを原則とするが、新人戦後の場合についても出場可とし、事前にその旨を総務委員長に申し出ることとする)

6 競技区分・決勝大会出場チーム (12チーム～)

【男子】

- ・新人戦優勝、準優勝チームと前年度優勝チームは決勝大会への出場権を与える。
予選大会参加については、当該チームの監督の判断に一任する。

・フリー抽選とし、4ブロックに分け、ブロック代表を4チームとする。・・・16チーム

- ・会場校枠チーム(男子 中)・・・1チーム
[決勝大会の男子会場(2日間とも)を希望するチームは、決勝大会への出場を認める。希望については、その年の開催区からの希望を最優先する。
開催区からの希望がなかった場合や開催区の希望が複数あった場合については、予選大会代表者会議で抽選にて決める。また、会場校枠チームがブロック予選で、ブロック代表4チーム内に入った場合は、そのブロックで次の順位にあたるチームが決勝大会に出場できるものとする。]
- ・前年度白鳥杯優勝チーム(男子 サフィール北海道)・・・1チーム
- ・札幌市中体連新人戦優勝・準優勝チーム(男子 中、 中)・・・2チーム

【女子】

- ・新人戦優勝、準優勝チームと前年度優勝チームは決勝大会への出場権をあたえる。
予選大会参加については、地区に一任する。
- ・地区代表チーム数は以下のようにする。

・大会参加の地区チーム数
・1～5チームの場合・・・1チーム
・6～8チーム場合は・・・2チーム
・9チーム以上・・・3チーム

- ・北海道バレーボール協会主催第2次ジュニアキャンプ参加チームの内、札幌市新人戦優勝、準優勝以外のチームがいる地区には地区代表枠を1チーム分与える。
- ・前年度白鳥杯優勝チーム(女子 札幌大谷中)・・・1チーム
- ・札幌市中体連新人戦優勝、準優勝2チーム(女子 中、 中)・・・2チーム
- ・開催区代表チーム(漣田区、女子のみ)・・・1チーム
[決勝大会の会場を札幌市10区の回り番で担当し、運営委員会と協力して、決勝大会の運営にあたる。

7 競技規則

平成29年度(公財)日本バレーボール協会競技規則に準ずる。
決勝大会の試合球は(株)モルテン、(株)ミカサのカラーボール人工皮革検定4号球を使用する。
男子ミカサMVA400、女子モルテンV4M5000

8 競技方法

- ・予選大会・・・試合方法は、ブロック、地区ごとの話し合いによる。ブロック代表、地区代表チームが決勝大会に出場する。
- ・決勝大会・・・①出場チームをフリー抽選のブロック戦とするが、男子についてはブロック1、2位、女子については地区シードを考慮する。
(ブロック戦の競技方法は、決勝大会の代表者会議で競技委員が提示する。)
勝ち残ったチームで決勝トーナメント戦を行なう。
②17チーム以上になったときは、トーナメント戦とする。
(新人戦優勝チームと準優勝チームは左右ゾーンにわけらる。)
③3位決定戦は行なわない。

9 チーム構成

- ① 単一チームにおいては、ベンチのメンバー登録は当該学校生徒の1、2年生の選手12名以内、監督、コーチ、マネージャー各1名の合計15名以内とする。但し、監督は当該学校の教職員とし、引率責任者とする。コーチは当該学校の教職員または、当該学校長が認め、中体連事務局に登録されている外部コーチを認める。マネージャーは、当該学校の教職員または、生徒とする。
また、前年度優勝チームと新人戦優勝、準優勝チームの登録変更は決勝大会代表者会議で認める。
- ②上記6の複数校合同チームにおいては、中学1、2年生の選手12名以内、監督、コーチ、マネージャー各1名は、チームを構成している学校内から出する。チーム引率責任者は、当該学校の教職員がいずれか1名はいることとする。
- ③クラブチームにおいては、ベンチのメンバー登録は当該クラブチーム生徒中学1、2年生の選手12名以内、監督、コーチ、マネージャー各1名(チーム構成の関係者)の合計15名以内とする。クラブチーム引率責任者は、クラブチームの責任者とする。ただし、協会の二重登録は選手も監督も認めない。

10 参加料

1チームにつき6,500円とする。

11 参加申込み

(1) 参加料は、振り込みにて納入する。(※手数料は、振り込み者が負担)
申込み後、参加できなくなった場合でも、参加料は納入していただきます。

(2) 11月10日(金)まで、競技委員長に振り込み領収書とメンバー表を添えて、申し込む。領収書のコピーは不可

※参加料の領収書は協会から6,500円分を監督会議の際にお渡しします。

手数料分に関しては、各校の会計担当者と検討してください。

ご不明の点があれば総務委員長の平井 歩(啓明中学校)までご連絡ください。

12 参加料振り込み先

北洋銀行 北二十四条支店(319) 普通口座 3808351
札幌バレーボール協会 中学部 代表 瀧澤 佳実(たきざわよしみ)
(※手数料は、振り込み者が負担してください)

振込元の氏名は【〇〇中(男・女子)】でよろしいです

13 表彰

- ・優勝チーム 白鳥杯・バレーボール協会賞・北海道新聞賞・賞状を授与する。
- ・2位チーム バレーボール協会賞・北海道新聞賞・賞状を授与する。
- ・3位チーム 賞状を授与する。
- ・優秀選手賞(含リベロ賞)7名 賞状・メダルを授与する。(閉会式で表彰する)
[1～3位の4チームは、春の選手権大会にシードする。]

14 運営

- ・予選大会・・・当該の予選大会の運営委員が中心に運営にあたる。
- ・決勝大会・・・開催区と決勝大会の運営委員会が運営にあたる。

15 代表者会議

- ・予選大会・・・11月24日(金)16:30～ 札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄東西線「宮の沢」駅下車(徒歩5分)
[全地区一斉に行う]前年度優勝杯・協賛賞トロフィ返還(サフィルバ・大谷中)
- ・決勝大会・・・1月26日(木)16:30～ 札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

16 開閉会式・代表者会議

- ・開会式(11/24予選大会 代表者会議) ・閉会式(決勝大会2日目)
 - (1)開会のことば (1)開会のことば
 - (2)大会長挨拶 (2)成績発表
 - (3)前年度優勝杯返還 (3)表彰(1～3位の4チーム)
 - (4)選手宣誓 (4)優秀選手の発表、表彰
 - (5)閉会のことば (5)大会役員の挨拶、講評
 - (6)閉会のことば

・代表者会議

- (1)大会委員長挨拶
- (2)出場チーム・参加チーム数の確認、開催要項の確認
- (3)予選大会の競技について
- (4)大会申し合わせ事項について
- (5)登録メンバーについて
- (6)プログラムについて
- (7)決勝大会男子会場校の決定・確認
- (8)男子予選大会抽選
- (9)地区ごとに競技方法、抽選

17 個人情報取り扱い

- ①大会参加者の氏名・所属・学年・身長は、大会運営のために必要なプログラム、掲示板、ホームページ及び札幌バレーボール協会記録へ掲載するために利用する。
- ②選手の大会成績は、ホームページ及び札幌バレーボール協会記録へ掲載するために利用する。

18 その他

- ・インフルエンザなどにより緊急の対応を取らなければいけない場合は総務委員長まで連絡をください。

※11月24日の監督会議の際には前年度優勝チーム(女子・大谷)

(男子は準優勝・種積)の主将の出席をくれぐれもお忘れなく、
よろしくお願いします。(選手宣誓)

また、運送義務のある白鳥杯(男子・サフィルバ、女子・大谷)、
優勝トロフィー(男子・サフィルバ、女子・大谷)、準優勝トロフィ
ー(男子・種積、女子・南が丘)をお忘れなくお持ちください。よ
ろしくお願いします。